

起業女子に

インタビュー

とかちイノベーションプログラム
(以下TIP)に携わる起業女子として、山川知恵さん(2期生)、3期からは推進チームメンバー)、浦木明子さん(2・3期生)にお話をうかがいました。



山川知恵さん

《企画WORKS代表》

自身が代表を務める会社以外にも、数社の取締役、さらべつ熱中小学校他の建築デザイン、十勝ファーマーズマーケットの企画運営にも携わる。

「そもそもTIPとは？」

TIPは帯広信用金庫主催で、協力団体として野村総合研究所のほか、帯広市長も応援している「十勝発の新事業をたくさん創造しよう」という事業です。「地域の経営者、起業予定の方」を公募し、全国から集まるユニークな経営者とマッチングさせることで新しい事業を生み出します。2015年からスタートし今年で4期目になりますが、毎年100

人程度の方が参加する事業となっています。現状は、男性参加者の比率が高いので、女性参加者を増やしていくためのアクションを検討しています。

「2期生として参加したきっかけ、3期目の推進チームメンバーになった心の経緯とは？」

2期目には観光関連の仲間と「かちの魅力を発信したい」と観光事業を立ち上げ、滞在型のツアーを提供する企業を作りました。

3期目に推進チームに回ったのは、主催者側からのお誘いもありました。参加者からみて、「ここにいて楽しいと思える場づくり」を提案したいと思ったからです。今後も継続予定のTIPを支えていけたらと考えています。

浦木明子さん



《食の寺子屋
直歩塾代表》

熱心に食の事を伝えながらも、ダジャレなど面白いことを常に考えている浦木さんのファンは道内外に。TIPのプレゼンでは、ラップを披露し、会場を沸かせた。

「伝統食を若い世代へ…浦木さんの活動(TIP応募内容)とは？」

「食の寺子屋・直歩塾」として応募しました。伝統食を現代風にアレンジして、若い世代に伝えていきます。一例としてぬか漬けです。昔ながらの方法だと、朝晩かきませるの旅行にすら行けないほど手のかかるものでしたが、冷蔵庫に入るサイズのホーロー容器などを使い、現代の生活に取り入れやすくするような方法で伝えていきます。

また、企業研修としての「料理教室」も好評を得ています。エプロンをつけて部長も新人も一緒に料理を作ると、フラットな関係になりコミュニケーション構築に役立ちます。料理×仕事の研修は面白いと感じています。

「女性たちよ、

私たちに続け！」

浦木さん 最初は横文字ばかりが続くので困りましたが、素直に「わからないな」「教えてほしいな」というと、親切に教えてもらえました。質問しながらのコミュニケーションでうまくいく。こういう「わからないな」を上手く使えるのは

女性のほうが得意じゃないかなと思います。場違いかな…なんて思わないで飛び込んでみて！

山川さん 主婦の人は尻込みしますがですが、パートナーの収入もあればスモールスタートが切りやすいと思います。「こんな事しか出来ないの」が、実は、他の経営者には待ち望んでいたスキルかもしれません。ちょっとした一歩でもいいから、一緒にやってみましょう！今年度は締め切りでしたが、来年度も参加者を募集する予定なので、注目して下さい。

とかち・イノベーション・プログラム



起業など
とかちに新しい
事業の種が…！

←事業アイデア案
発表の様子